

EA 使用説明書



copyright©Choice-Trade all rights reserved.

1. 目次

1. 目次.....	2
2. 当 PDF のリンクをクリックした際のセキュリティ警告の確認について.....	3
3. MT4 のセッティング.....	4
3. 1. MT4 のインストール.....	4
3. 2. ライブ口座へログイン.....	5
3. 3. EA を MT4 へ導入.....	7
4. EA を動かす.....	9
4. 1. 「オプション」の設定.....	9
4. 2. 口座履歴を全履歴表示にする.....	11
4. 3. チャートを表示.....	12
4. 4. チャートの分割.....	13
4. 5. チャートに EA をドロップ.....	14
4. 6. 「全般」の設定.....	15
4. 7. 「パラメーターの入力」の設定.....	16
4. 8. EA の動作確認.....	17
4. 9. 「全般」と「パラメーターの入力」の再編集.....	19
5. EA を停止・削除する.....	20
5. 1. EA の一時停止.....	20
5. 2. EA をチャートから削除.....	21
6. エキスパートログファイル.....	22
6. 1. ログファイルの見方.....	22
6. 2. ログとアラートのメッセージ一覧.....	23
7. 注意事項(必ずお読みください).....	26
8. MT4 のバージョンの確認方法.....	31
9. 利用規約.....	32

2. 当 PDF のリンクをクリックした際のセキュリティ警告の確認について

当 PDF では各所にウェブサイトへのリンクやメールアドレスを記載しており、クリックすることによってリンク先のページに移動することができます。クリックした際、以下のような「セキュリティ警告」の確認を求められる場合があります。



当 PDF に記載されているウェブサイトへのリンクやメールアドレスは全て信頼できる安全なものとなっております。「セキュリティ警告」の確認を求められた場合は、「すべての PDF 文書に関してこのサイトに対する操作を記憶」にチェックを入れて、「許可」をクリックしてください。

PDF リーダーの種類やバージョンによって「セキュリティ警告」の確認の内容が若干異なる場合もありますが、いずれの場合も許可や承認をクリックしてください。

3. MT4 のセッティング

3. 1. MT4 のインストール

MT4 のインストールがまだの方は下記ページからダウンロードしてください。

提携 FX 業者各社 MT4 ダウンロードページ:<http://choice-trade.com/mt4download/>

MT4 のインストールは簡単ですが、初めての方は下記ページを参照ください。

MT4(メタトレーダー 4)のインストール方法:<http://choice-trade.com/mt4install/>

同じ FX 業者の MT4 を複数インストールする場合は下記ページを参照ください。

MT4 を複数インストールする方法:http://choice-trade.com/mt4install_fukusu/

3. 2. ライブ口座へログイン

ライブ口座にログインするためには、MT4 ライブ口座の開設が必要になります。別紙「各社口座開設&入出金説明書」にしたがって開設します。

開設が完了すると、「口座番号(ログイン ID)」と「パスワード」と「サーバー名」が発行されます。この3つはライブ口座にログインするのに必ず必要になりますので忘れないようにしてください。

まず、下記画像のように「Login to Trade Account」をクリックします。

そうすると、「取引口座のログイン情報」という画面が出てきます。

※MT4 をインストールした初期時の場合は、下記「取引口座のログイン情報」が自動で出てきます。



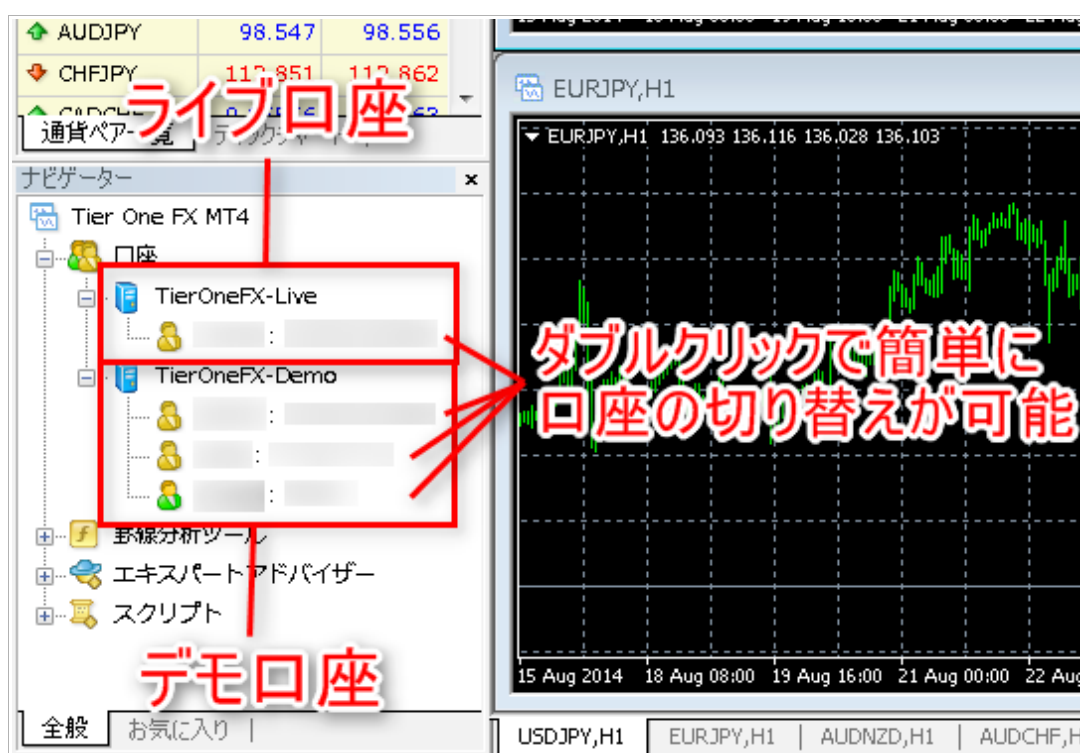
「口座番号(ログイン ID)」と「パスワード」を入力し、「サーバー」を選択してください。その下にある、「ログイン情報を保存」にチェックを入れることによってログイン情報が保存されて次回からは入力が省略できます。

パスワードは英数字が混ざっていて手入力だと間違いやすいので、コピー＆ペーストで貼り付けることをお勧めします。

入力事項に問題が無ければ最後に「ログイン」をクリックします。

無事にログインが完了すると、「ナビゲーター」の「口座」の項目にライブ口座の欄が増えます。デモ口座はその下の項目です。

※デモ口座でログインしたことがなければデモ口座の欄は表示されません。



一度ログインするとログイン情報が記憶されます。デモ口座やライブ口座に切り替えたいときは上記アイコンをダブルクリックすることで簡単に切り替えることができます。

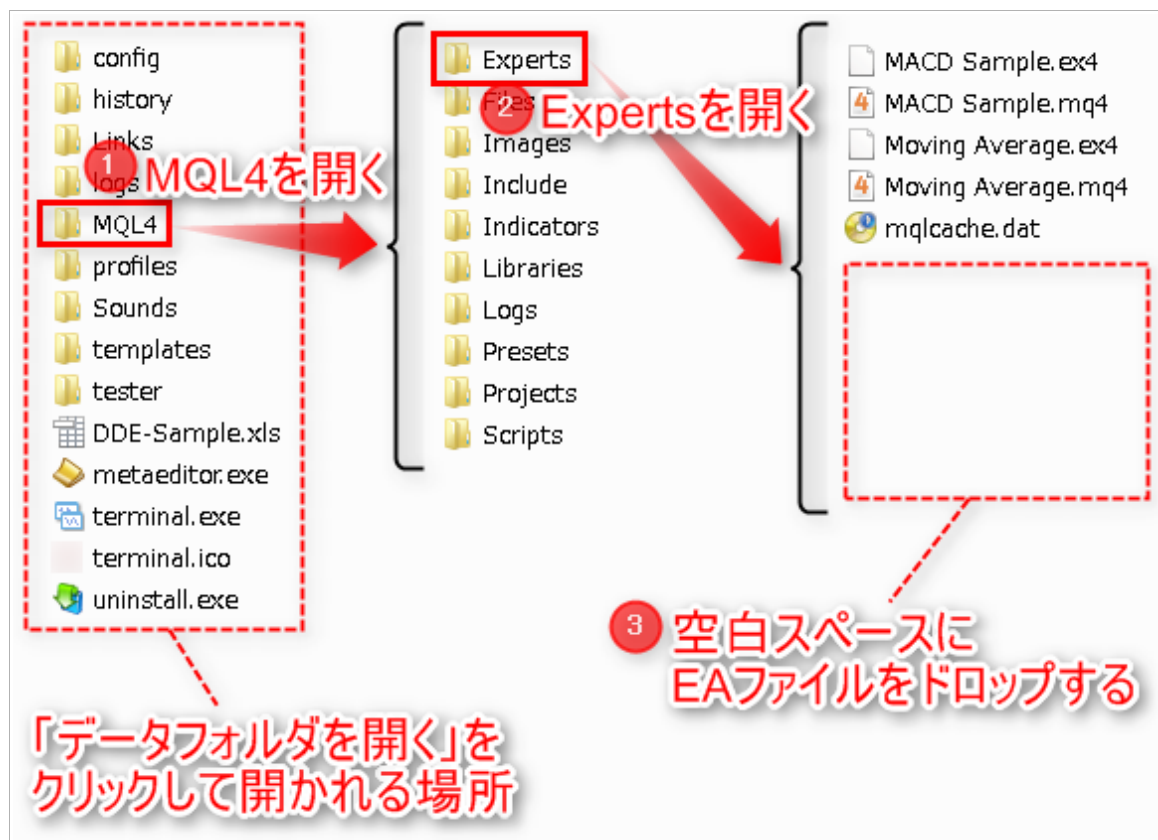
3. 3. EAをMT4へ導入

まず、MT4を起動します。

続いて下記画像のように、「ファイル」の中にある「データフォルダを開く」をクリックします。



「データフォルダを開く」をクリックすると、次ページの画像の左側のような場所が開かれます。



上記画像のように、MQL4>Expertsと順にフォルダを開きます。

Experts のフォルダを開いた場所が EA の配置場所です。空白スペースに EA ファイルをドロップして入れて下さい。この際に、EA ファイルを zip フォルダのまま入れないようにご注意ください。zip フォルダに入っている場合は展開(解凍)して EA ファイルを出す必要があります。EA ファイルの拡張子は.ex4 です。

※PC の設定によっては拡張子は表示されていない場合もあります。

ドロップした際に、お使いの PC もしくは PC のセキュリティーの設定によっては、「管理者の許可が～」と確認が出ますが、安全なファイルですので「はい」等を押して許可してください。

※ドロップとは、左クリックでファイルを押したままマウスで移動させて、移動先で左クリックを離すことによってファイルを移動させる行為のことです。

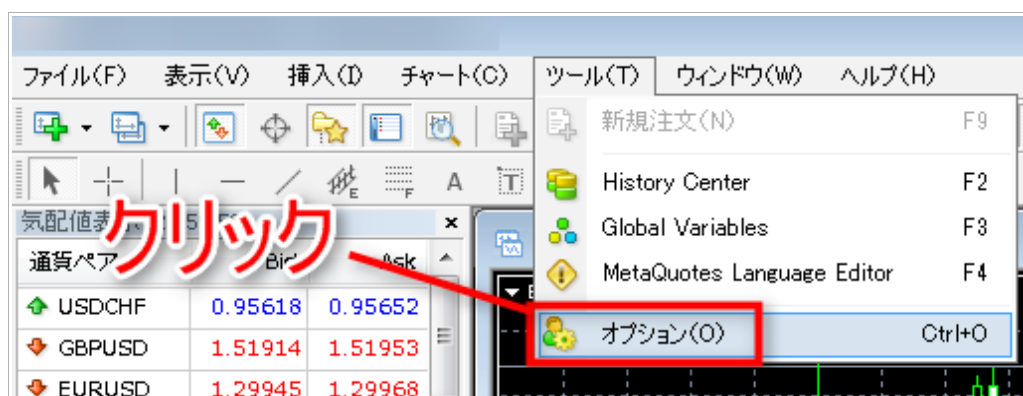
EA の配置が完了したら、MT4 を再起動してください。再起動しないと導入した EA は反映されません。

これで MT4 への EA の導入は完了です。

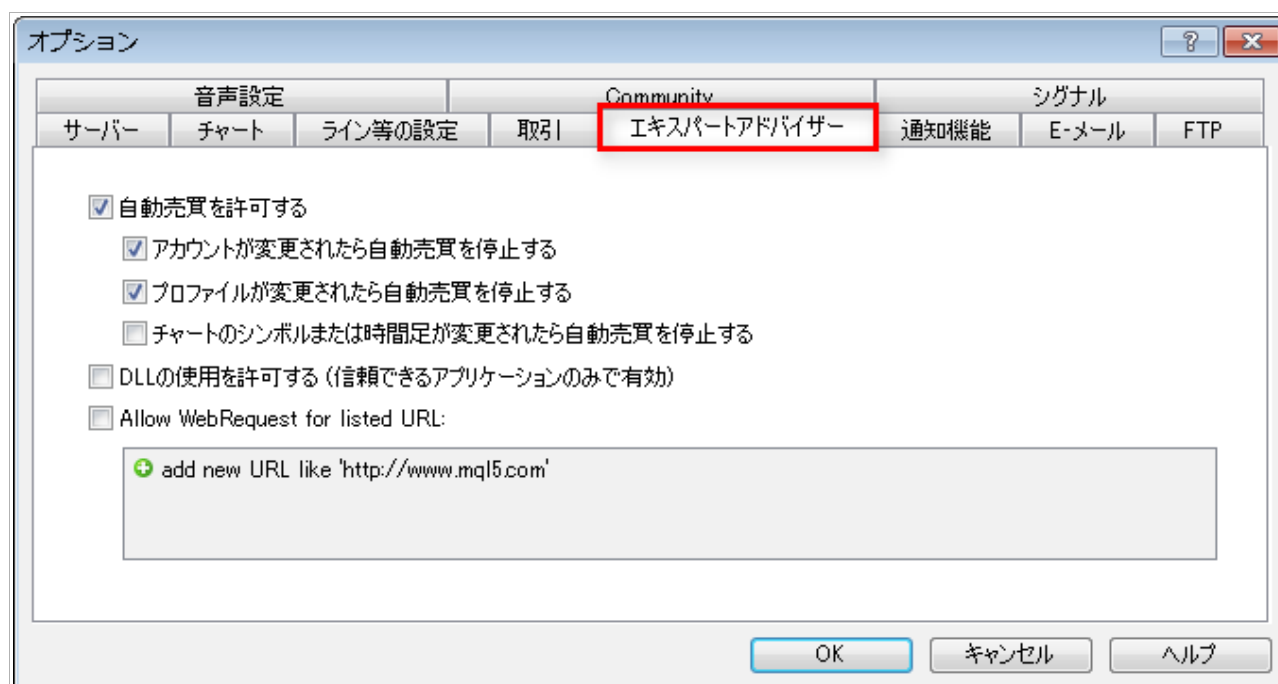
4. EA を動かす

4. 1. 「オプション」の設定

まず EA を動かす前の設定を行います。
下記画像のように「ツール」の「オプション」を開きます。



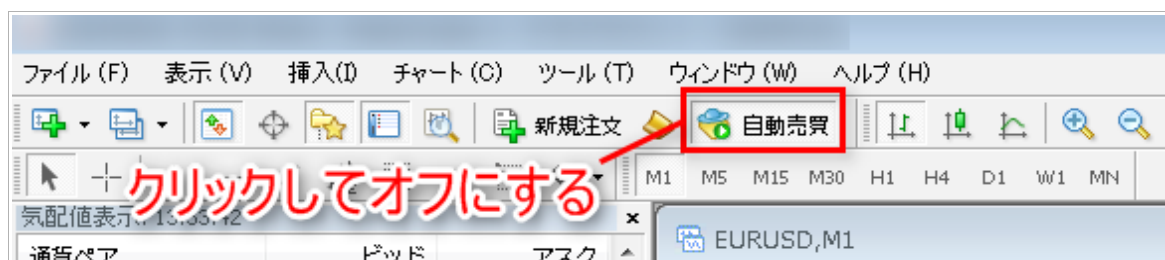
続いて「オプション」の「エキスパートアドバイザー」のタブを選択します。



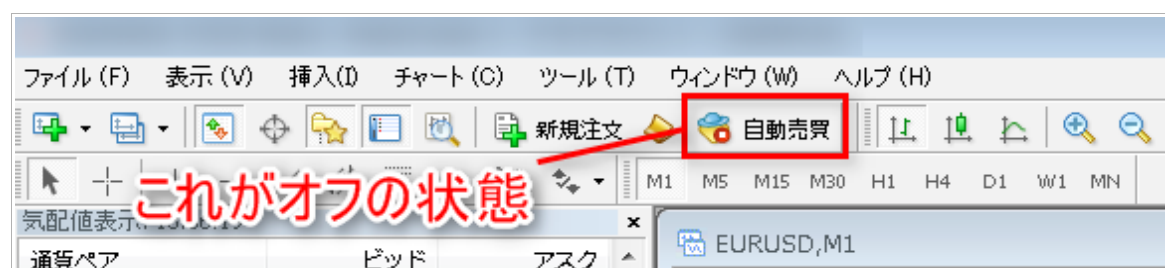
上記画像のようにチェックを入れて下さい。
「DLL の使用を許可する」と「Allow WebRequest for listed URL:」にチェックは関係ありません。一緒に動かす別の EA で必要な場合はチェックを入れて下さい。

最後に「OK」をクリックします。

「OK」をクリックすると、下記画像のようにEAの再生ボタンがオンになります。



これを1回クリックして、一旦オフにしてください。オフになると下記画像のようになります。

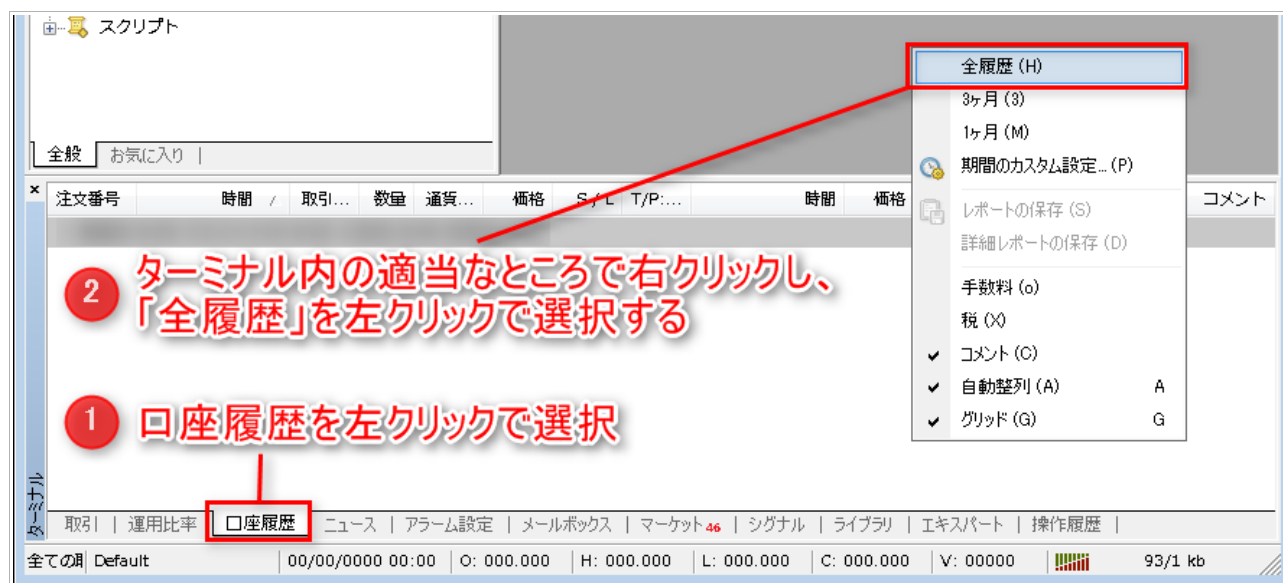


EAをチャートに入れる前からオンの状態だとあまり望ましくありませんので、ここでは一旦オフにして、チャートにEAが入ってからオンにする、という手順で行ってください。

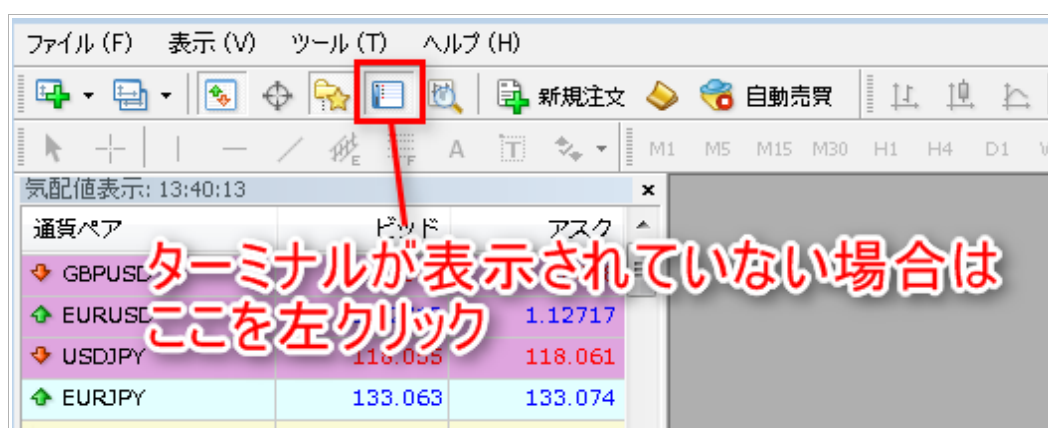
4. 2. 口座履歴を全履歴表示にする

EAの中には、今までの取引履歴を参照しトレードに生かすものがあります。
その場合、ターミナルにある口座履歴が「全履歴」表示になっていないとトレード履歴を十分に参照できない場合があります。
確実にトレード履歴を参照できるように以下の手順で設定します。

下記画像のようにターミナルの口座履歴を「全履歴」にします。
※取引履歴がなければ、目に見える変化はありません。それでも行ってください。



ターミナルが表示されていない場合は、下記画像のようにボタンをクリックしてください。

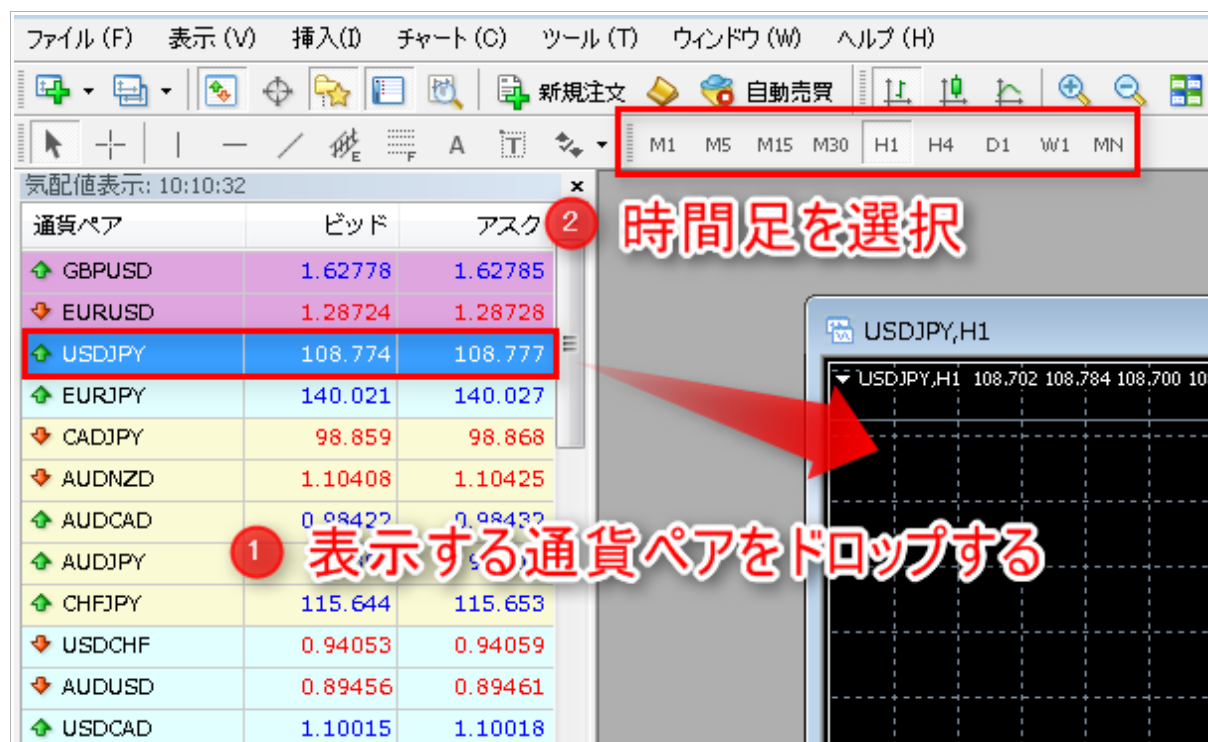


以後、マーケット稼働時は「全履歴」表示のままにしておいてください。全履歴以外に表示させる場合は、なるべく土日のマーケット停止中に行ってください。

4. 3. チャートを表示

下記画像のように、「気配値表示」から表示させる通貨ペアを探し、灰色の背景部分へドロップします。

※ドロップとは、左クリックでファイルを押したままマウスで移動させて、移動先で左クリックを離すことによってファイルを移動させる行為のことです。



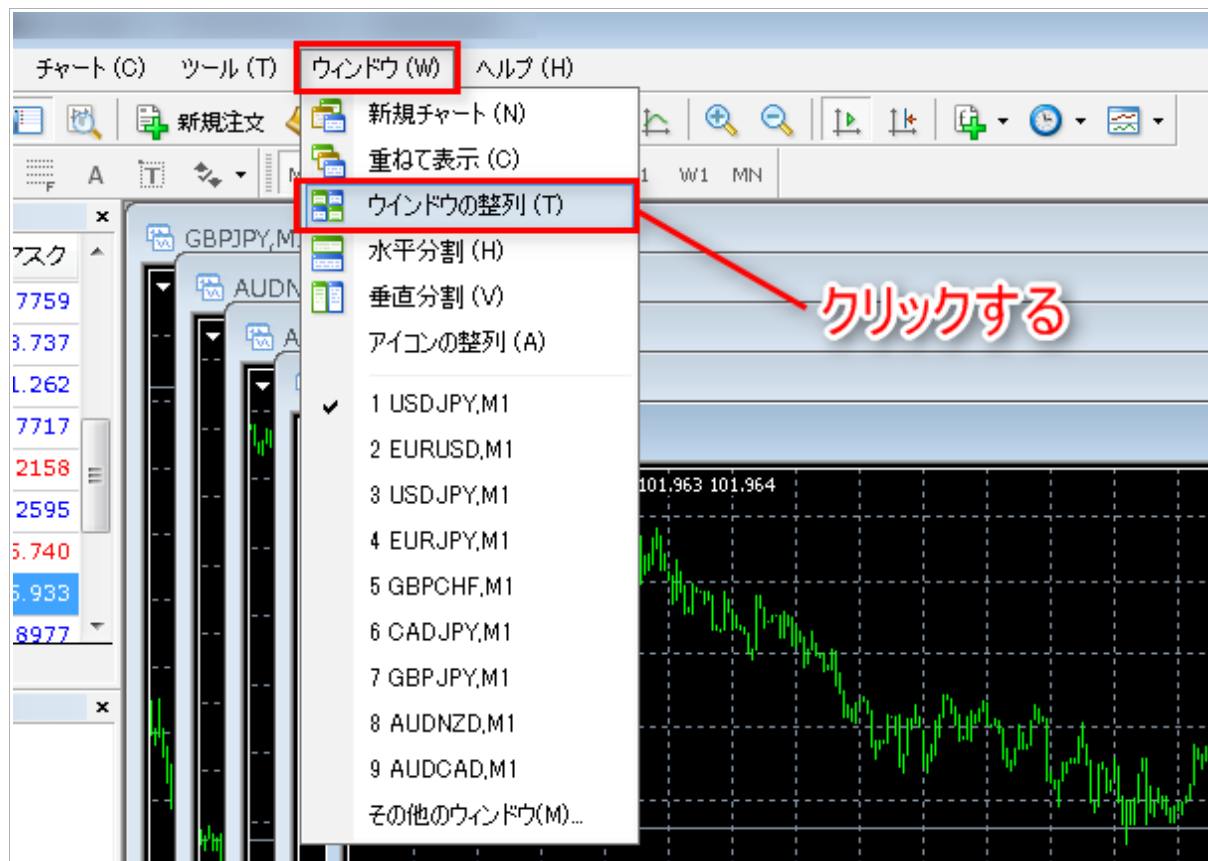
表示したい通貨ペアが見当たらない場合は、「気配値表示」の上で右クリックし、「全通貨ペアを表示」を選択してください。

同時に複数の通貨ペアでEAを稼働させる場合や、他のEAも使用する場合はそれに応じてチャートを複数表示させます。

チャートを表示させたら、上記画像②の部分で使用する時間足を選択します。

4. 4. チャートの分割

チャートを複数表示させる場合は整列が悪くなるので、「ウィンドウの整列」を使用します。



すると下記のように整列されて見やすくなります。1つ1つの画面が小さくなりますが、EAの動作には問題ありません。



4. 5. チャートに EA をドロップ

ナビゲーター内のエキスパートアドバイザーから使用する EA を選択し、使用する通貨ペアのチャートに EA をドロップします。

※ドロップとは、左クリックでファイルを押したままマウスで移動させて、移動先で左クリックを離すことによってファイルを移動させる行為のことです。



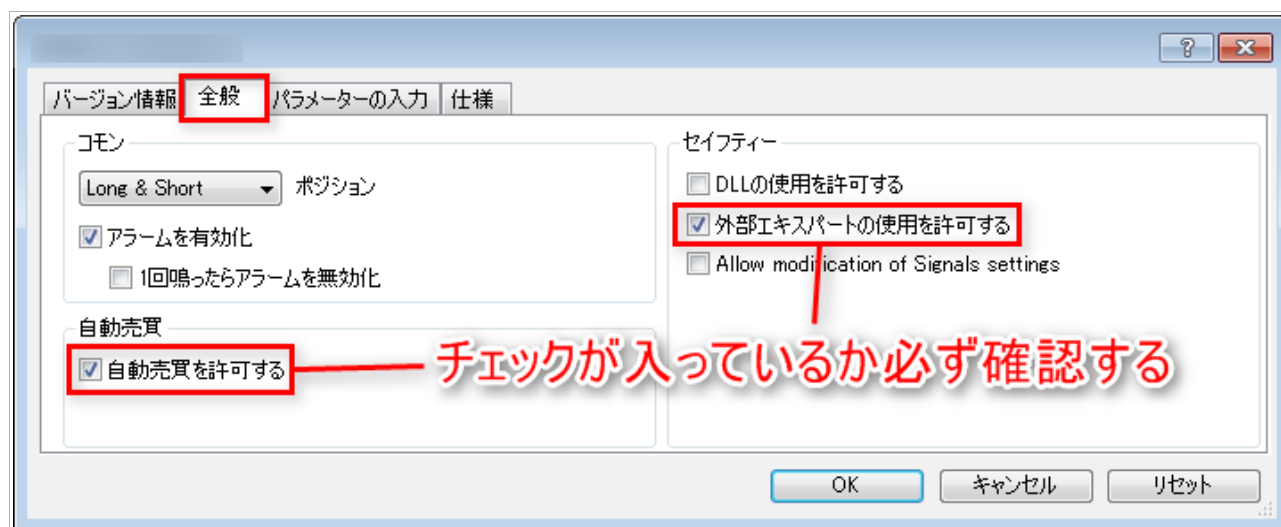
EA は「ナビゲーター」の中の「エキスパートアドバイザー」にあります。

ドロップしてチャートに導入すると、EA の各種設定画面になります。

4. 6. 「全般」の設定

EA をチャートにドロップすると各種設定画面になります。

まず「全般」の設定ですが、9 ページの設定が完了していればおおよそ下記のようになっていると思います。



上記のようにチェックが入っているか確認してください。

特に、「自動売買を許可する」にチェックが入っていない場合がありますので、必ずチェックを入れて下さい。チェックが入っていないと EA は稼働しません。

「ポジション」は初期設定で「Long & Short」になっていますが、買いの注文も売りの注文も許可するという意味です。「Long & Short」のままにしておいてください。

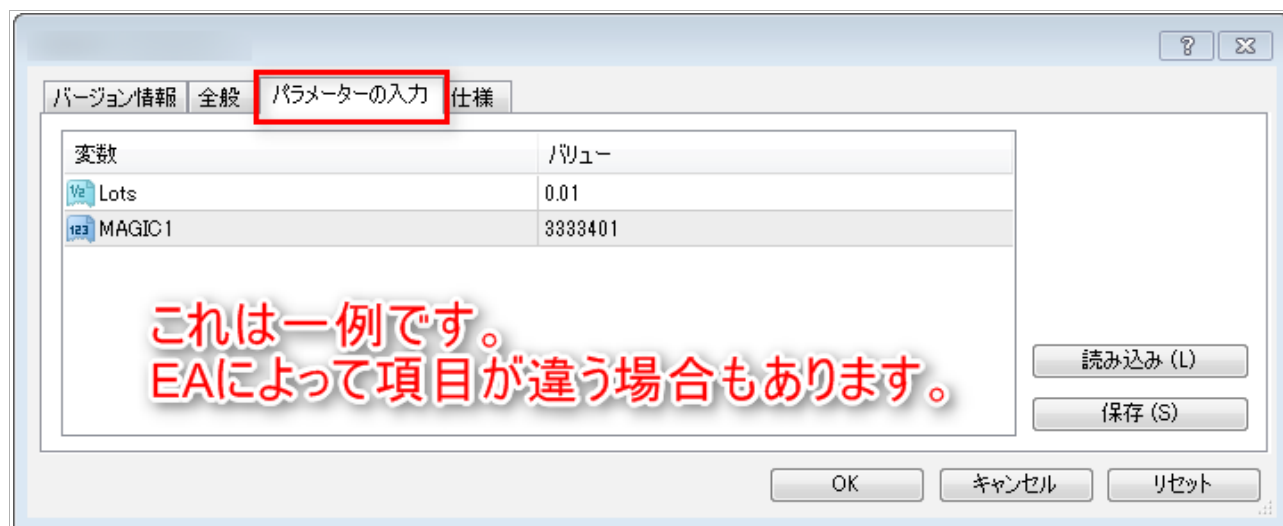
「DLL の使用を許可する」にチェックは必要ありませんが、特別指示のある EA の場合はチェックを入れて下さい。

※この設定画面の「自動売買を許可する」のチェックを外すと、チャートごとに EA を停止させることも可能です。

続いて「パラメーターの入力」のタブをクリックします。

4. 7. 「パラメーターの入力」の設定

ここで EA のパラメーターを設定します。



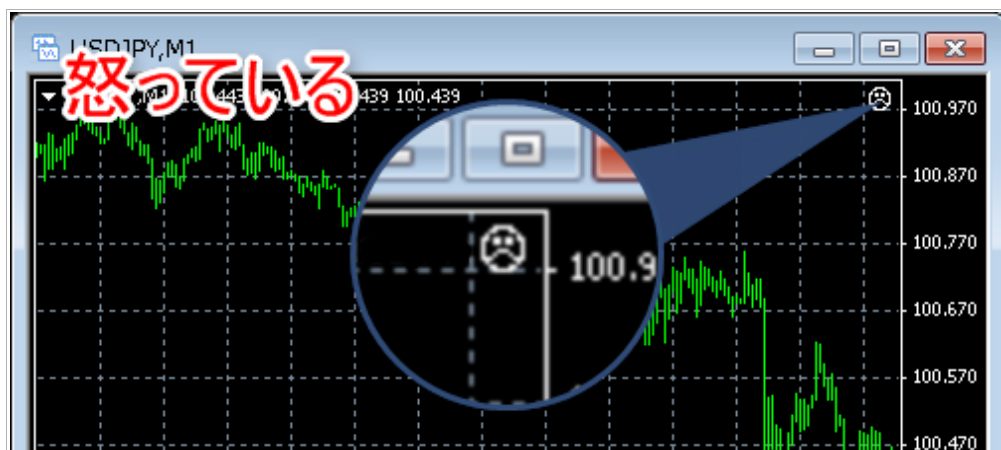
各種パラメーター（バリューの行）はダブルクリックで変更できます。必ず半角で入力してください。

各種パラメーターは EA ごとに異なりますので、使用する EA の説明書に従ってください。

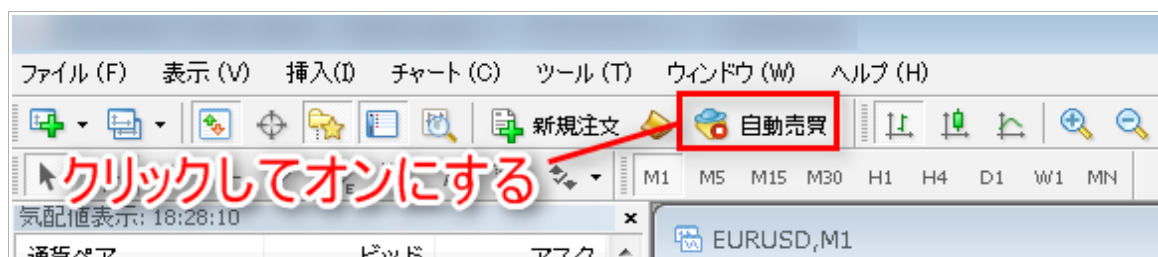
設定が完了したら最後に「OK」を押します。

4. 8. EA の動作確認

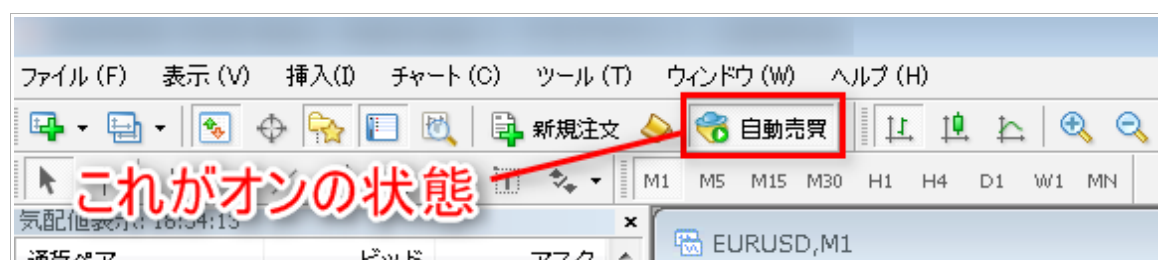
「全般」と「パラメーターの入力」を確認し「OK」をクリックすると、下記画像のようにチャート右上に顔が表示されます。まずは下記画像のように怒った顔になっているはずです。EAの再生ボタンがオフの状態なので、怒った顔になっています。



EA をオンにします。



上記画像のように 1 回クリックして、オンになると下記画像のようになります。



EA がオンになると、下記画像のように顔がスマイルマークになります。
複数の EA を稼働させる場合は、全てのチャートでスマイルマークになっていることを確認してください。



これで EA が稼働し始めます。

EA をオンにしても顔が怒ったままの場合は、15 ページの設定で「自動売買を許可する」にチェックが入っていません。この状態では EA は稼働しませんので、次ページの手順で再編集してください。

※EA が稼働し始めても取引タイミングにならないと取引は行われないので、すぐに目に見える形での変化はありません。

4. 9. 「全般」と「パラメーターの入力」の再編集

チャート右上のスマイルマーク(もしくは怒った顔)を左クリックしてください。



もしくはチャート上で右クリック後、下記画像のように「設定」を選択しても再編集できます。



こうすることで、15 ページの設定画面を再度表示できます。

5. EA を停止・削除する

5. 1. EA の一時停止

下記画像の再生ボタンをクリックすると EA を一時的に停止(オフ)することができます。



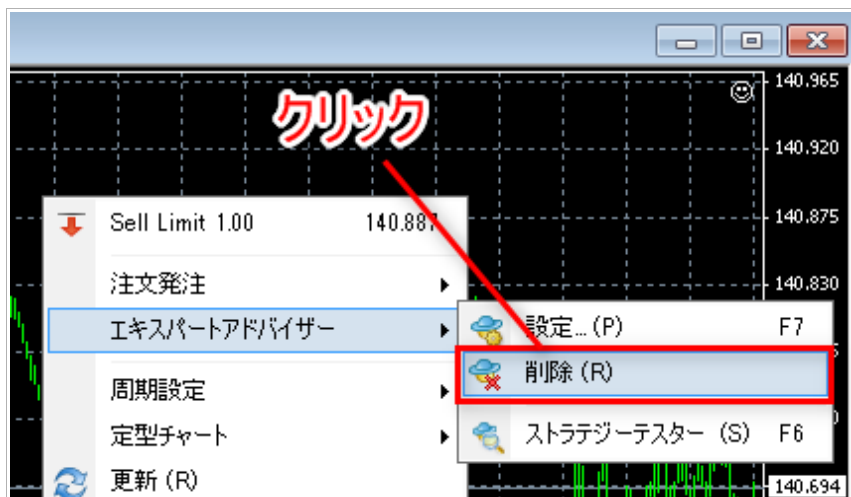
再度押すと稼働(オン)することができます。MT4 を閉じる際は必ず EA を停止してください。

この再生ボタンのオンオフは全てのチャートの EA に反映されます。

※チャートごと(EA ごと)に停止したい場合は 15 ページを参照ください。

5. 2. EA をチャートから削除

チャート上で右クリック後、下記画像の「削除」をクリックすると EA を削除できます。



削除するとチャート右上の顔が消えます。削除の際は必ず顔が消えたか確認してください。なお、チャートそのものを削除しても一緒に削除されます。

注意: MT4 をシャットダウン (閉じる) するだけでは EA は残ります。

MT4 をシャットダウン (閉じる) する場合、特別事情がなければ EA は削除せずそのままです。再度 MT4 を起動すればそのままの状態でも再開できます。

ただし、MT4 を閉じる際は必ず EA を停止してください。

《EA の稼働をやめた際に残っているポジションまたは予約注文について》

EA の稼働をやめた際にその EA によるポジションが残っている場合、利益確定値や損切り値が設定されていればそのどちらかに到達するまでポジションは残り続けますし、利益確定値や損切り値が設定されていなければポジションは残り続けます。いずれにせよ、ポジションは EA によって管理されなくなりますので、残ったポジションに関しては裁量判断で手動決済されるなり対応してください。

EA によって出された予約注文が残っている場合も、そのレートに到達すれば発動してしまいますので、残った予約注文に関しても裁量判断でキャンセルされるなり対応してください。

また、EA の稼働をやめる際にその EA によるポジションまたは予約注文が残っている場合、そのポジションまたは予約注文を決済もしくはキャンセルされる時は EA を停止してから行ってください。EA を停止せずに行うと、EA によってはすぐにポジションまたは予約注文を持ってしまう場合があります。

6. エクスポートログファイル

6. 1. ログファイルの見方

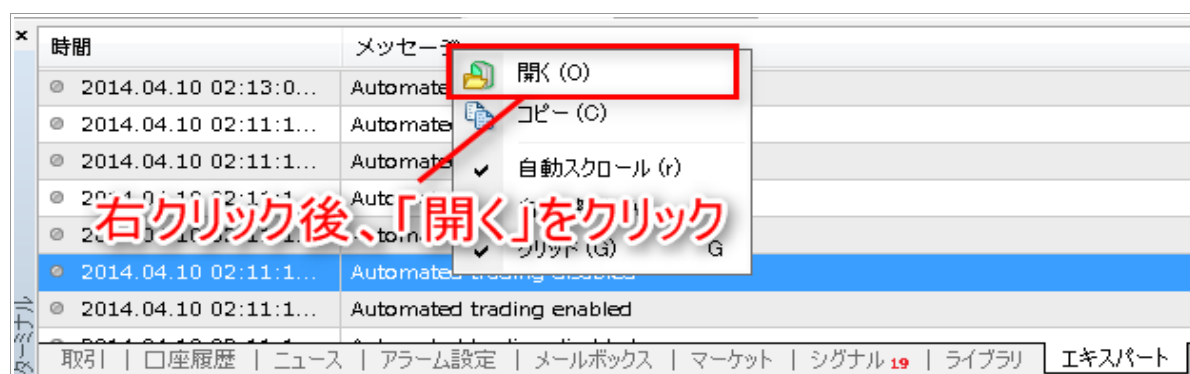
次ページからのログやアラートはエクスポートログファイルに記録されます。エクスポートログファイルを見るには下記画像のように「ターミナル」の「エクスポート」タブを開きます。



ターミナルウィンドウが表示されていない場合は下記画像のようにツールバーのボタンをクリックします。



ターミナル内の適当なところで右クリックし、「開く」を選択するとログをテキストファイルで開くこともできます。

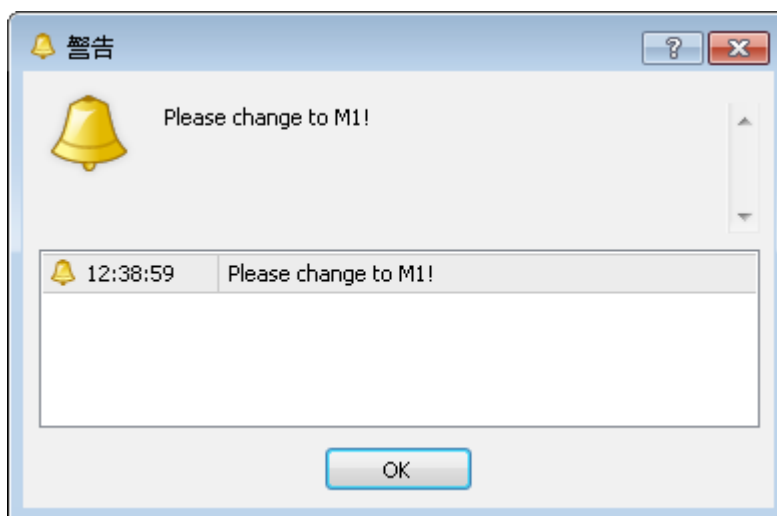


6. 2. ログとアラートのメッセージ一覧

ログ、アラートはそれぞれ以下のように表示されます。
この一覧は基本的な内容であり、EAによって多少異なる場合があります。

ログ: 22 ページのログに表示されます。

アラート: ポップアップ(サウンド有り)で下記画像のように表示されます。



アラートはあくまで「お知らせ」です。表示されたら内容を確認して「OK」を押してください。
アラートのメッセージは 22 ページのログにも表示されます。

●設定系

アラート: この EA に指定されている口座番号と違います。

ログインしている口座番号(ログイン ID)が指定されたものと違います。正しい口座番号(ログイン ID)にログインし直さないと EA は稼動しません。

アラート: ○○足に変更してください。

使用する時間足が決められている EA で、指定の時間足と違う場合に表示されます。指定された時間足に変更し直さないと EA は稼動しません。

●エントリー、決済系

ログ:[買い注文が約定しました。]

買い注文が約定されました。

ログ:[売り注文が約定しました。]

売り注文が約定されました。

ログ:[買い注文の決済が約定しました。]

買い注文の成行決済が約定されました。

ログ:[売り注文の決済が約定しました。]

売り注文の成行決済が約定されました。

●エントリーエラー系

ログ:[エラー] 買い注文が受け付けられませんでした。:エラーの種類

ログ:[エラー] 売り注文が受け付けられませんでした。:エラーの種類

注文時にエラーが発生しました。ほとんどの場合は自動でリトライした際に解決します。しばらく経っても約定できない場合は、通信状態や設定に問題がある可能性がありますので再度確認してください。

ログ:[エラー] 買い注文の決済が受け付けられませんでした。:エラーの種類

ログ:[エラー] 売り注文の決済が受け付けられませんでした。:エラーの種類

成行決済注文時にエラーが発生しました。ほとんどの場合は自動でリトライした際に解決します。しばらく経っても約定できない場合は、通信状態や設定に問題がある可能性がありますので再度確認してください。

●その他

ログ:[通貨ペア] ○○足の最新値が取得できていません。○○足のチャートを表示して読み込んでください。

ログ:[通貨ペア] ○○足のバーが不足しています。○○足のチャートを表示して○○本以上読み込んでください。

EAによっては表示(稼働)しているチャート以外の時間足からデーターを取得し、トレードロジックに組み込んでいるものがあります。その場合に、該当する時間足からデーターが取得できない時に表示されるエラーです。通常は数秒から数分で自動的に解決されます。該当する時間足のチャートを表示していなくても自動的にデーターを取得できるようになっていますが、稀に取得に時間がかかる場合があります。上記エラーが立て続けに連続表示される場合は、該当のチャートを開いてバーをチャート上に表示させてください。エラーが解消されればそのチャートは閉じて構いません。

7. 注意事項(必ずお読みください)

●EA を稼働(オン状態)させたままで MT4 のシャットダウン・起動を行わないでください。

誤動作の原因になります。MT4 をシャットダウンする際は EA を 20 ページの手順で停止してから行ってください。そして再度 MT4 を起動した際にヒストリカルデータ(レート)が十分に最新値までダウンロード(表示)されたのを確認してから EA を稼働(オン)させてください。

●EA は指定された通貨ペア、時間足のチャートで使用してください。

誤動作の原因になりますので、指定された通貨ペア、時間足以外のチャートでは使用しないでください。

●1 つの口座での注文が 100 個を超えないようにしてください。

MT4 は 1 つの口座で一度に注文できる数は、オープンポジションと予約注文合わせて 100 個までです。EA によってはオープンポジションや予約注文が多くなるものもあります。1 つの口座で複数の EA を稼働する場合は、注文が一度に 100 個を超えないように注意してください。100 個を超える可能性がある場合は、口座を別けて EA を稼働するようにしてください。

EA による注文で 100 個を超える注文が出されてしまうと、単純に注文が通らないばかりか、EA の動作が重くなりフリーズの原因になる可能性があります。

●EA を稼働(オン状態)させたままで通貨ペアの変更を行わないでください。

誤動作の原因になります。通貨ペアの変更は EA を 20 ページの手順で停止してから行ってください。そしてヒストリカルデータ(レート)が十分に最新値までダウンロード(表示)されたのを確認してから EA を稼働(オン)させてください。

●EAによるポジションがある状態でEAを停止、削除、MT4をシャットダウンした場合。

この場合、注文に損切り値や利益確定値が設定されていればいずれそのどちらかで決済されます。注文に損切り値や利益確定値が設定されていない場合は注文が残り続けます。やむを得ずEAの稼働を中断する場合などに、EAによる注文が残っている場合は損切り値や利益確定値の予約注文による決済を待つか、もしくは手動で決済してください。また、EAによる注文が残った状態で一時EAの稼働を中断した場合も、EAの稼働を再開させれば再度その注文を認識します。そして引き続き今までのトレード履歴に応じてトレード判断を行います。仮に注文が決済されていてポジションがない状態でEAの稼働を再開させても、引き続き今までのトレード履歴に応じてトレード判断を行います。ただしこれらはEAの稼働を再開したときに稼働中断前のマジックナンバーと同じであること、また同一口座であることが条件です。

●EAを停止、削除、MT4をシャットダウンした後、EAを再稼働をさせた場合。

EAによる注文が残った状態で一時EAの稼働を中断した場合も、EAの稼働を再開させれば再度その注文を認識します。そして引き続き今までのトレード履歴に応じてトレード判断を行います。仮に注文が決済されていてポジションがない状態でEAの稼働を再開させても、引き続き今までのトレード履歴に応じてトレード判断を行います。ただしこれらはEAの稼働を再開したときに稼働中断前のマジックナンバーと同じであること、また同一口座であることが条件です。

●停電やPCアップデート等でEAが稼働(オン)のままMT4(PC)がシャットダウンした場合。

MT4を再び起動する際はまず、PCからLANケーブルを抜く、もしくはワイファイ通信をオフにするなどして、インターネット接続ができないようにします。続いてMT4を起動し、EAをオフにします。EAをオフにしたらインターネット接続ができるように元に戻してください。最後に、ヒストリカルデータが十分に最新値までダウンロード(表示)されたのを確認してからEAを稼働させてください。

●ターミナルの口座履歴は「全履歴」表示にしてください。

EAの中には、今までの取引履歴を参照しトレードに生かすものがあります。その場合、ターミナルにある口座履歴が「全履歴」表示になっていないとトレード履歴を十分に参照できない場合があります。11 ページに従い「全履歴」表示に設定してください。

●EA 稼働中にチャート画面のスクロールによるヒストリカルデータのダウンロードを行わないでください。

誤動作の原因になります。チャートに表示されているレートはサーバーからダウンロードされたものです。チャートを過去にスクロールして初めての表示になるレートはそのとき初めてサーバーからダウンロードされます。MT4 をインストールしたばかりの状態ではチャート画面を過去にスクロールする行為自体がヒストリカルデータのダウンロードになります。ダウンロードによってヒストリカルデータが呼び込まれるとチャート上のバーの総数が増えます。これが EA の誤動作につながりますので、稼働中にはむやみにチャート画面をスクロールしないでください。また同じく、ヒストリカルセンターのデータも変更しないでください。

● EA の稼働をやめた際に残っているポジションまたは予約注文について

21 ページに記載されているように対応してください。

●各種パラメーターを極端な値に設定しないでください。

マイナス値や、99999999 のような大きな値、0.0000001 のような小さな値に設定しないでください。使用する EA の説明をよく読み、適正な値で設定してください。また、マジックナンバーは最大 8 桁とし、それより大きい桁に設定しないでください。

●MT4 のアップデートは必ず行ってください。

MT4 のアップデートは、アップデートが配信されてから最初の MT4 起動時に自動的に行われます。よって、起動したままの MT4 はアップデートされません。1 ヶ月に最低 1 回は、週末レートが停止しているタイミングなどを利用して、MT4 を再起動することをお勧め致します。また、アップデートが配信されていて他の MT4 がアップデートできているにもかかわらず、MT4 起動時に自動的に更新されない場合もあります。その場合は特に問題ありませんので、そのまま結構です。次のアップデート時に無事完了できる可能性が高いです。

●この EA はデモ口座もしくは指定されたライブ口座の口座番号(ログイン ID)で利用することが可能です。

ライブ口座での利用で口座番号(ログイン ID)が違っているとアラートが発生します。

●23 ページからの「ログとアラートのメッセージ一覧」を必ずご覧ください。

エラーのほとんどは時間の経過もしくは自動で解決しますが、「ログとアラートのメッセージの一覧」を必ずご覧ください。

●EA を稼働させるには MT4 を起動している必要があります。

EA を 24 時間連続稼働させる場合は、週末レートが停止している間を除き 24 時間 PC を起動している必要があります。PC の連続稼働が困難な場合は VPS (ウェブ上に仮想的な PC を借りるサービス) の導入をご検討ください。VPS は月に数千円程度で誰でも簡単に契約できます。おすすめはお名前.com の「デスクトップクラウド」です。

●常時 EA を稼働させる場合の土日間について

ポジションの有無に関わらず、EA を稼働したまま土日に突入しても問題ありません。週明け月曜日からそのまま稼働します。

●PC がスリープ状態では MT4 や EA は稼働しません。

PC が自動的にスリープにならないよう設定してください。

●PC の自動アップデートによるシャットダウンにご注意ください。

PC のアップデートを自動で設定している場合、強制的に PC がシャットダウンさせられてしまう場合があります。シャットダウンしますと MT4 や EA は稼働しません。アップデートのインストールを手動で行うよう設定するか、自動でアップデートを行う場合は土日間の相場が停止している間に実行されるようにしてください。土日間にアップデートが行われた場合は、PC がシャットダウンされていた場合に再度起動し忘れないよう注意してください。土日のレートが停止している間であれば EA の再生ボタンがオンの状態のまま PC がシャットダウンされても、EA の再生ボタンがオンまま MT4 を立ち上げても誤動作は起こりません。

●どんなEAでも必ず理論通りに動作するとは限りません。

EAはサーバーからやってくるレート进行处理し、EAからサーバーへ発注するといった双方向の通信が伴います。通信網が発達した現在でも、通信を介すシステムに絶対は存在しません。ロジックからずれた値で約定することや、もしくは決済することも十分に考えられます。サーバーの不具合やMT4そのもののバグや不具合によるEAへの影響も考えられます。また、本来エントリーと一緒に入るはずの損切り値や利益確定値が入らないことや、予期せぬ誤動作が発生する可能性もゼロではありません。通信やEA、MT4の能力を過信せず定期的なチェックが重要です。

●EAは他のEAと同じMT4上、同じ口座上での同時稼働が可能です。

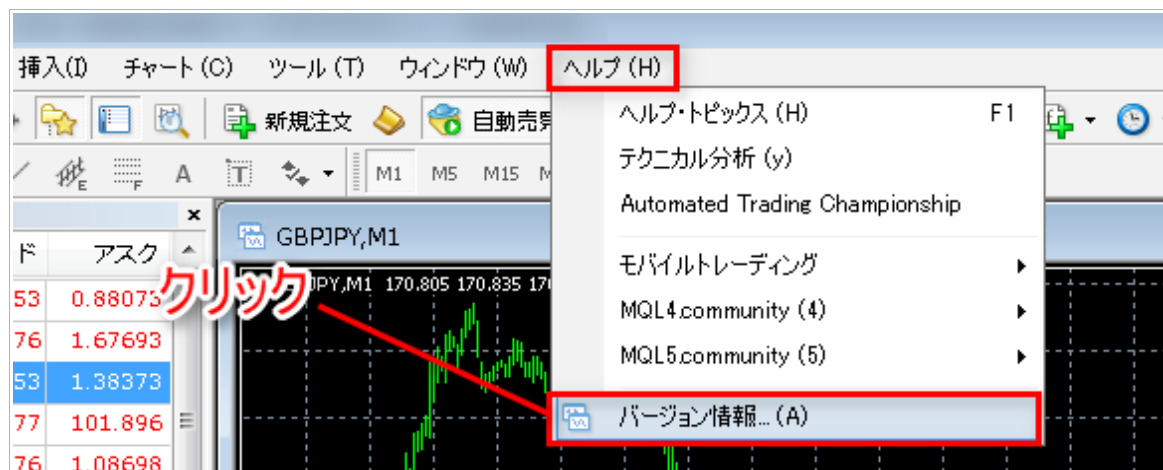
ただし、同じ口座上で同じ通貨ペアでEAを稼働する場合はマジックナンバーが双方同じにならないようにしてください。また、同じ口座上で複数のEAを同時稼働する場合や裁量取引も同時に行う場合は、口座残高に無理がないか注意を払ってください。

●取引数量の設定に関して

取引数量の設定や資金(口座残高)は、EAによっては推奨値が記載されているものもありますが、最終的な判断はお客様にゆだねられています。ご自身にとって余裕の持てる資金と取引数量で運用してください。

8. MT4 のバージョンの確認方法

MT4 のバージョンの確認は「ヘルプ」の「バージョン情報」から行います。



この場合ですと、上記画像左下の「Build 670」がバージョンです。

MT4 のアップデートは、アップデートが配信されてから最初の MT4 起動時に自動的行われます。よって、起動したままの MT4 はアップデートされません。1 ヶ月に最低 1 回は、週末レートが停止しているタイミングなどを利用して、MT4 を再起動することをお勧め致します。

また、アップデートが配信されていて他の MT4 がアップデートできているにもかかわらず、MT4 起動時に自動的に更新されない場合もあります。その場合は特に問題ありませんので、そのまま結構です。次回のアップデート時に無事完了できる可能性が高いです。

9. 利用規約

・注意事項

チョイストレード(以下、甲とする)が提供致します EA はメタトレーダー 4(以下、MT4 とする)専用です。他のチャートソフトでの動作は保障致しません。各 FX 業者の提供する MT4 のレートが配信されている時間やメンテナンス時間は、業者ごとに若干異なる場合があります。各 FX 業者の説明をよく確認してください。各 FX 業者の MT4 ごとに若干のレートのズレや遅れ、スプレッドに違いがあります。よって各 FX 業者の MT4 ごとでも、取引結果を見比べると若干の違いが生じることもあります。

どんな EA でも必ず理論値通りに動作するとは限りません。EA はサーバーからやってくるレートを処理し、EA からサーバーへ発注するといった双方向の通信が伴います。通信網が発達した現在でも、通信を介すシステムに絶対は存在しません。ロジックからずれた値で約定することや、もしくは決済することも十分に考えられます。サーバーの不具合や MT4 そのもののバグや不具合による EA への影響も考えられます。通信や EA、MT4 の能力を過信せず定期的なチェックが重要です。

以上の内容等に注意し、FX取引をされる際はすべてお客様の自己責任でお願い致します。

・免責事項

甲が提供致します EA は、甲の経験に基づきお客様に提供するものであり、お客様の収益を保証するものではありません。甲が提供致します EA の内容を参考にすることや、もしくは使用して、お客様にいかなる損害が生じた場合にも甲は一切の責任を負いません。また、お客様への事前の通知なく EA の内容の追加、変更、提供終了をすることができ、EA の改良や修正を行った場合にアップデート版を再度お届けする場合があります。お客様はこれらを承諾するものと致します。

・責任の所在

甲より提供致します EA の取引、情報、投資の最終決定はお客様ご自身の判断で行うものとし、お客様は、EA を利用もしくは参考にしての投資判断から生じたトレードの損失、また利益について甲は一切の責任を負わないものとします。お客様が EA を利用もしくは参考にすることによって第三者に対して損害を与えた場合、お客様は、自己の責任と費用負担において処理解決し、甲に損害を与えないものと致します。

・知的財産権

甲より提供致します EA に関する著作権等の知的財産権は甲に帰属します。お客様は EA を、甲に無断で私的利用の範囲を超えて利用することはできません。お客様は EA を、甲に無断で改変、デコンパイル(逆コンパイル)、編集、公表、販売、譲渡、無料提供することはできません。

・最後に

万が一、お客様と甲との間で紛争が生じた場合、双方は、ともに誠意をもって協議するものとします。